

はじめに

日本列島の各地には、はるか昔から湯の自然湧出する場所があった。そしてその湯をいつの頃からか人間は利用するようになり、様々な効能と共に親しまれている現在では、温泉は気軽な旅行の目的地の一つにさえなっている。

そのように湯を求めてやってくる人々を受け入れながら発展してきた温泉地には、湯が発見された経緯や由来を伝える話が多く存在する。古い温泉地ほど、温泉発見の由来が語り伝えられているようである。

この温泉発見伝説については、『温泉大鑑^①』の七分類や山口貞夫の四分類^②を始め、これまでにいくつかの分類案が示されてきた。その分類案には、「動物が教えた」、あるいは「導いた」とするものが必ずみられることから、鳥獣に教えられて発見したという伝説が、温泉発見伝説の中でも重要な位置を占めていると理解できる。

「温泉の信仰と伝説^③」を記した加藤玄智と宮坂光次は、鳥獣等にも、自然泉や温泉をめぐって集まり、好んでこれに浴する風習があったのはまぎれもない事実であると述べている。それを信心深い昔の人は鳥や獣の習性とは考えずに、動物を神仏の使者や化現と見做してきたのである。確かに、動物が人間に温泉のありかを教えてくれたのは、神仏の存在があつてのことだと考えているものは多くある。しかしながら、調べてみると必ずしもそればかりというわけでもない。温泉発見伝説には、人々が動物の行動をどのように捉えてきたのか、また動物をどのように見てきたのかを知る手掛かりが隠されているようである。

自然からの恩恵である温泉を享受するため、これまでに多くの浴場が開かれてきた。岩手県鉛温泉のように、戦を逃れて山中に住まい、後にその一族が動物の姿を通して温泉を発見し、開湯したと語る場合もあった⁽⁴⁾。また長野県の鹿教湯温泉のように、現在人々に親しまれている温泉名が、温泉地の発展を願った後の時代の改称によるものであり、それに伴って伝説が新たに生成されている場合もあった⁽⁵⁾。

人々は、大地の恵みであるが故に湯の枯渇を恐れ、また時代による利用者の増減に影響を受けながらも、営みを続けている。そのような温泉地の歴史的な様相は発見伝説にも大きく関わるものであり、温泉地ごとの丁寧な調査研究が重要になってくる。

本書では、二〇一四年から調査を進めてきた岐阜県高山市にある平湯温泉を取り上げる。平湯温泉は周囲を乗鞍岳や笠岳（笠ヶ岳）などの高山に囲まれた、中部山岳国立公園内に位置する温泉地である。奥飛騨温泉郷の中でも古い歴史を持つ平湯温泉には、武田家ゆかりの軍勢が白猿の様子を見て湯のありかを知ったという話が伝えられている。この温泉発見伝説と、それにちなんで新しく作られた湯花祭りや、古くから守られてきた薬師如来にまつわる伝説とその祭り、そして温泉地の変遷について考えていきたいと思います。

また、平湯でのフィールドワークを重ねる中で、直接温泉には関係しない地域の暮らしの話などを伺う機会にも恵まれた。生活の中のごく一部に限られたものではあるが、平湯を理解する上では大切なものと考えられる。そのような人々の暮らしの語りを織り交ぜながら、史資料とあわせて見えてくる平湯温泉の今昔を、本書を通してお伝えできれば幸いである。

一、飛騨の中の平湯

(一) 平湯の地勢

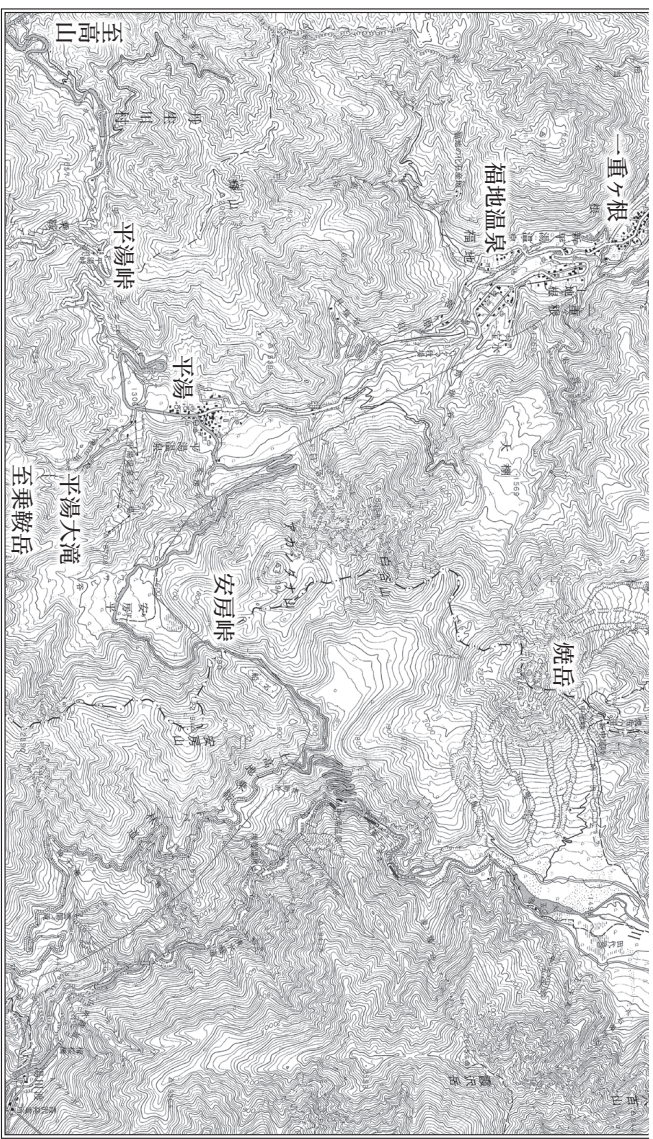
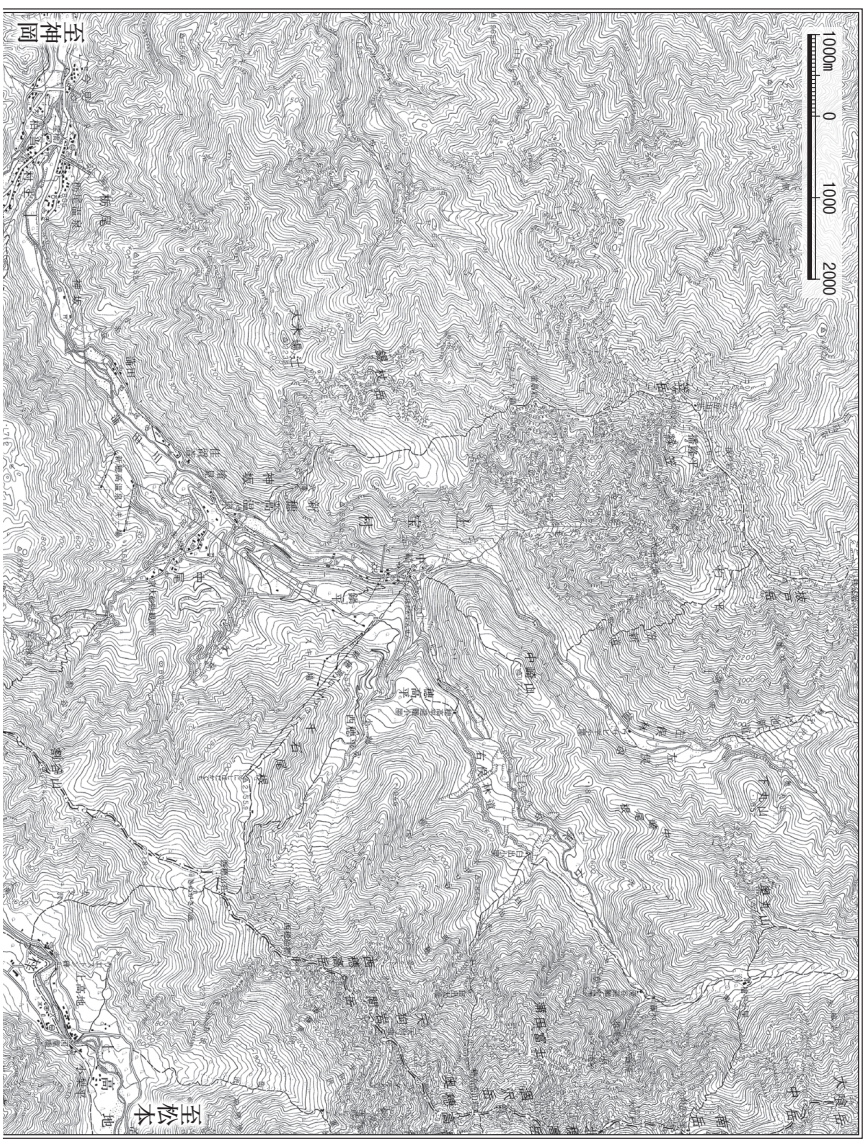
平湯は現在岐阜県高山市の一部に属しているが、以前には県の東北端にあった吉城郡上宝村の一部を占めていた。この上宝村の地域の大部分は山地であり、各集落は、高原川沿岸にある山間部のわずかな平坦地に散在している。平湯は乗鞍岳西北麓の標高一三三三メートルの高地にあり、東部は長野県との県境に接している。また高原川の上流の溪谷にも近く、四囲には安房山や焼岳、西穂高岳、奥穂高岳、槍ヶ岳などの高山が続いている。

平湯のある飛騨地方から他地域に繋がる街道は、高山を中心に東西南北に伸びている。参勤交代に使われた美濃まで続く西の益田街道や、野麦峠を越えて信州の奈川村へ続く信州街道、越中への白川街道や越中東街道・西街道などである。越中岩瀬湊（現富山市）には、高原川や神通川を通じて、高原郷山中から伐り出された木材が流送されていた。

平湯に特に関係するのは、高山から丹生川村や上宝村平湯、安保峠（安房峠）を越えて信州安曇村、さらには松本へ向かう平湯街道である。この街道は、かつて鎌倉街道とも呼ばれていた古い道でもあった。

このように、信州へ抜ける道が通っていた平湯には、江戸時代の一時期に口留番所が置かれていた。他藩への物資の流出などを、これによって統制しようとしたのである。飛騨口留番所は、金森氏が飛騨を治めた慶長年間に設置され、その三十一ヶ所のうちの十八ヶ所は、明治四年（一

【図1】平湯周辺図



本図は国土地理院発行の1:50,000地形図を加工したものである。